

グリーンたいむ



発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>

ホームページのアドレスが変わりました。



理事長 小林 香織

「私たちの食の安心・安全を守るために
くまもとから発信していきます」

新型コロナウイルス感染症発生後は感染拡大防止にご協力をいただきまして、ありがとうございます。感染症法上の位置付けが5類となりましたので、安心して取り組みに参加していただけるように留意しながら、コロナ禍前のような組合員活動に戻していきたいと思っております。皆様の参加をお待ちしております。

カーボンニュートラルの取り組みは、「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡すために」私たちができるところを考え、現在、継続的に検討を重ねております。組合員の皆様には、ご理解とご協力をいただくこともございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

来年の2月24・25日に「GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと」を、くまもと森都心プラザホールで開催することが決定しました。遺伝子組み換え作物やゲノム編集食品の技術が目に見えて広がっています。私たちの食の安心・安全を守るために、くまもとから発信していきます。今年度も、グリーンコープの輪を広げていきましょう。

2023年度スタート!

6月2日に開催したグリーンコープ生活協同組合くまもと第二十三期通常総代会を経て、2023年度がスタートしました。理事長と専務理事よりメッセージをお届けします。



専務理事 上村 猛

「未来を作る——100万人
一、〇〇〇億円を目指して」

いつもお世話になっております。2023年度も引き続き、専務理事を務めさせていただきます上村と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

現在、グリーンコープでは「未来を作る——100万人——、1000億円を目指して」と題し、いろいろな取り組みを行っています。

その中の一つとして、乳幼児を抱える世代の方々へ、どうやったらグリーンコープの素晴らしさをお伝えできるのか、どうやったらグリーンコープを支持していただけるのか、実際にその世代の組合員さんや、子育ては卒業されて、今やお孫さんの見守りをされている組合員さんから、「こんなグリーンコープになってほしい」などの意見を頂戴しながら、話し合いを重ねてきています。

検討はまだ始まったばかりです。また、まだまだいろいろな角度から検討しなければならぬことがあります。今年度も前を向いてしっかりと一歩ずつ、前進していきます。

もくじ

- 1：2023年度スタート! / 2：第二十三期通常総代会報告 / 3：2023年度 自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動報告 / 4～5：地域サークル助成団体紹介 / 6：災害支援活動報告 / 7：わたしとグリーンコープ、こんにちほ! ワーカーズです、市民電力関連 / 8：「グリーンたいむ」リニューアルに寄せて、みんなのひろば、リユース・リサイクル状況、編集者だより



2023年度

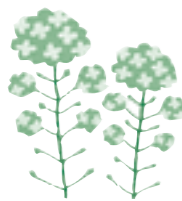
自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動報告



今年度も組合員を中心に、自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動に取り組みました。昨年度は2検体で陽性反応が検出されましたが、今年度は県内各地80ヶ所で調査を行い、すべて陰性でした。この調査は、輸入ナタネの種子の飛散や虫などによって交雑し、遺伝子組み換え作物の汚染が広がるのを懸念して2005年から毎年行われており、私たちの食の安心・安全を守るために、市民ができる調査監視活動として定着しています。

今年度、陽性反応は検出されませんでした。継続して調査を行い関心を持ち続け、次年度も調査をしたいと思えます。調査活動の時期になりましたら、個人で調査をしたい方の募集を行います。皆さんも調査をしてみませんか？
グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

すぎなみ地区では、熊本県と大津町議会からも参加いただき、調査を行いました。



検査キットを使って検査

3月24日に採取したセイヨウナタネを、3月27日にすぎなみ地区運営委員会メンバーで検査をしました。

当日は、県職員と大津町議会議員の方がそれぞれ1人ずつ参加され、両名にも検査を手伝っていただきました。結果が出た時にはみんなで「この待つ時間がドキドキしますね」「陰性で良かったです」と言ってホッとしました。県職員や町議の方からは、毎年続けて調査していることに対してお褒めの言葉をいただきました。交通量の増加、人流の増加で、どこで遺伝子組み換えナタネが見つかってもおかしくないことをお伝えし、熊本や大津の農産物を守るためにもしっかりと調査を続けていくことや、ゲノム編集トマトの問題についても消費者として、母親として、とても心配しているということをお伝えしたところ、とても熱心に話を聞いていただき、しっかりと受け止めていただけたと感じました。

県職員、町議の方と一緒に検査したことで、地区の皆さんにも「自分たちがやっていることは本当に凄いいことなんだ」と実感してもらえたようでした。
(東地域本部より聞き取り)



コンベアの下に生えていた

検査の結果は陰性でホッとしましたが、参加されたグリーンクラブの方も、とても関心を持って検査をされていました。八代港ではナタネの荷揚げをされていないのに、飼料工場の敷地内に設置されたコンベアの下には、経路に沿うようにアブラナ科の植物が生えていたのが不思議でした。
(本部より聞き取り)

(※)グリーンクラブ…グリーンコープ納入業者の会



たくましく枝分かれをしていた

昨年陽性反応を検出した八代エリアでは、グリーンクラブ熊本支部の方々と共に、八代港埠頭でナタネの採取を行い、調査しました。

グリーンクラブ^(※)熊本支部の方7人を含めた、計18人で調査を行いました。八代港には2つの飼料工場があり、工場のコンベアの下に1本だけ生えているナタネ(カラシナ)を採取しました。とてもたくましくて1人では抜くことができず、2人で抜きました。



「Make better!」を合言葉に
広い視野を持ち、楽しく活動していきます

グリーンコープ生活協同組合くまもと 第二十三期通常総代会報告

グリーンコープ生協くまもとは、6月2日(金)、「くまもと森都心プラザ」5階プラザホールにて、第二十三期通常総代会を開催し、すべての議案が賛成多数で承認されました。
(総代定数260、本人出席126、委任出席134)



開会挨拶から

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、通常総代会をこのように一堂に会して実施できるのは3年ぶりです。総代会は生協にとって、方針・予算を決定するとても大切な場です。しっかり審議いただきたいと思います。



グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織さん



▲採決の様子
▲活動報告の様子

2022年度事業(活動)報告について

2地域本部体制がスタートし、年度当初は模索しながら、次第にそれぞれの活動のスタイルが各地域本部・地域委員会で作られてきました。6月に、「水俣・熊本みらい基金」主催で開催された講演会では、文明や近代社会がもたらした問題において、私たちは当事者であると気付かされました。コロナ禍で2年間開催が中止されていた「共生・平和長崎自転車隊」が、ふくおかの組合員を対象に再開され、くまもからは「応援隊」として29人が参加し、現地で「不戦」や「平和」について考えました。ゲノム編集食品に関する学習会を講師お二人の対談形式で開催し、熊本県内で栽培されているゲノム編集トマトの問題や、全国で広がりを見せるオーガニック給食について学習しました。10月にリニューアルオープンした桜木店、12月に人吉市に開所した子どもの居場所「ひだまり」など、各地域本部が一丸となって取り組み、それぞれの思いや夢を実現させることができている。

2023年度事業(活動)方針について

新型コロナウイルス感染症は感染症法上の5類となり、多くの規制が緩和されています。顔を合わせて話をする、気持ちを交わし合うことの素晴らしさや力を、私たちはコロナ禍で改めて感じました。これまでのWithコロナ、これからのAfterコロナを意識して活動していきます。地球温暖化・気候危機への取り組みが検討されています。「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡したい」という私たちの願いは生活に直結するものです。グリーンコープ運動の集大成として、一人ひとりが「我が事」として引き寄せて考え行動し、その輪を広げます。「GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと」を2024年2月に開催します。単協が一つになって遺伝子組み換え作物やゲノム編集食品について広く知らせ、開催に向け盛り上げていきます。かねてより老朽化が原因のトラブルが続いている玉名センターについて、建て替えの検討を始めることになりました。センターに集う職員、ワーカーズ、組合員一人ひとりが「私たちのセンターである」と感じられるように、意欲的に検討を重ねながら進めていきます。

特別報告について

カーボンニュートラルについて、くまもとは今総代会で議案として取り扱う準備を進めていましたが、共同体理事会で「財源の準備の仕方」についての修正提案が出され、16の単協が集まる共同体理事会や、くまもとの理事会でも、提案について再検討が必要となりました。くまもとは、2022年10月の臨時総代会で総代の皆さんから出された意見を受け、夢ヲかたちに理事会、地域委員会、地区運営委員会、各種取り組みなどで、カーボンニュートラルについて検討を重ねてきました。共同体理事会で修正案が定まりつつありますので、そのことを受け、くまもととしてどのように取り組むのか、今秋開催を予定している臨時総代会の場で総代の皆さんに提案できるよう検討していきます。



2023年度 地域サークル 助成団体が決定しました!



地域サークル名	所在地	活動目的・内容
あそカツパ会	阿蘇郡	子育て中のお母さんたちが主役になり、子育てを楽しみながら子どもたちの心の成長を応援します。同じ地域で関わりを持ちながら、みんなで子育て・自分育てができるコミュニティとなるよう工夫して、キムチ作り、観劇会など、大人も楽しめる活動をしています。
ASO 秋桜会	阿蘇市	熊本地震により傷んだ阿蘇西地区・長陽地区の方々の心身の復旧と地域の活性化に向け、私たちにできることを一歩ずつ進めていきます。花いっぱい運動など、心と体の健康に向け、地域のつながりを求めて、癒される、楽しい、ワクワクする活動を実施します。
育児サークル HUG	熊本市	ゆのはら産婦人科の助産師と、出産したお母さんによって作られた育児サークル。母乳育児に関心を持ち、実践している親子の交流を図ると共に、社会に対して母乳育児への理解を求め、楽しみを見出せる子育てを実践することを目的として活動しています。
NPO法人 こころのサポートセンター・ウィズ	菊池郡	今の社会の中では、女性は「ひとり分を生きる」ことが難しい状況に置かれていることが多いのだと思います。女性という立場であるということをつかち合い、違いは大切にしながら「ひとり分を生きる」ことを考えていきます。
お話し ホ～ホン	宇土市	子どもたちの居場所を設けて、地域の方々の協力を得ながら、子どもたちに日ごろ学校でできないような多様な経験をさせたり、読み聞かせを通じて豊かな心を育てるという目的で活動しています。異世代交流として、宇土市老人クラブのマルシェ活動に参加します。
学校応援団 さくら会	山鹿市	子どもたちの幸せと、そのための奉仕を推進することを目的とし、先生方や子どもたちと一緒に学校をより良くしていくために活動しています。花壇の整備や保健室での手芸活動、読み聞かせ、年度末のお楽しみ会、放課後パトロールなどを行っています。
牛乳パック回収を広める会	宇土市	大量生産、大量消費による使い捨ての暮らしを見直し、地球環境を守るため自分たちにできることから、'91年に会を結成。現在は、古着やタンスに眠っていた買い置きの手提げ袋を持ち寄り、図書館バッグとして寄贈を続けています。
熊本・有機の学校給食を考える会	熊本市	未来を生きる子どもたちの健康に重要な食「学校給食」で、オーガニックの食材を使うことを実現したいと思う人が集まり「安全な食」の大切さを学び、周りへ伝える活動をしています。種蒔きミーティングなどオーガニックを選ぶ人を増やすように伝える機会を作っています。
くるくるひまわり	菊池郡	仕事・家事・育児の合間にも楽しみを見つけて、それが人生の張り合いになるように楽しく活動をしています。子育てなどお互いの意見を交換し合い、自分を高め合っていけたら良いと思い、親子ランポリン体験、お花見会など工夫して活動しています。
Good Job!	熊本市	無業の若者の活動支援と居場所作りを活動目的としています。無業の若者のステップアップの場を提供し、社会性を身に付けてもらいます。地域美化や清掃などのボランティア活動、職場体験など、社会性を身に付けるための学び、および体験活動を行っています。

グリーンコープは、地域で組合員やその仲間が集い、子育てや福祉、環境など、さまざまなテーマのもと活動している自主サークルを応援しています。

2023年度の助成が決定した19団体を紹介します。助成金額は1団体あたり年間3万円です。活動目的・内容については、助成申請書から抜粋しています。



地域サークル名	所在地	活動目的・内容
こどもあそび隊!	熊本市	季節のあそびや、子どもたちのしたいあそびのサポート、軽食の提供、ミニコンサート、読みきかせなど、子どもたちが安心して自由なあそびを経験する機会を作り、あそびを通して、子どもたちの異年齢集団での交流を持つ機会を作ることを目的に活動しています。
コミュニティ・スペース「子どもの城」運営グループ	八代市	「八代なかよしおもちゃ図書館」「やつしろ子ども劇場」を中心に、子育て中や子育て支援に関わる個人や団体が集い、情報交換や協力し合うことを目的に活動しています。熊本労災病院小児科病棟へのおもちゃの寄贈、壁面装飾や手作りおもちゃ教室などを行っています。
さくら＊くらぶ	熊本市	グリーンコープ商品を中心に、料理、洗濯、掃除など生活に関することを安全に簡単にできるように楽しく学びます。近所の方や友だちを誘って交流することで地域の輪を広げ、地域の絆で防災意識を高めていきます。
里山生活	上益城郡	“里山の緑と水をいつまでも”という思いを胸に、多くの人と学び合い、語り合い、4R運動の取り組みを参考に環境負荷を減らす活動や、せっけんの利用者を増やし、美しい水を守る活動をしていきたいと思っています。
ダブルハッピー	熊本市	双子や三つ子を妊娠中、または育児中の仲間が集まり、情報交換をすることで、育児不安を解消し、元気になることを目的としています。多胎育児に役立つ情報を共有したり、学んだりできる内容を企画。月に1回の定例会をフェイスブックや広報紙で呼びかけています。
小さな親の会	宇城市	認可外子ども園に通う子どもと保護者で、保育園の時間以外でも食育や環境などを伝えるような活動をし、地域との交流を深めることを目的としています。バザーやお楽しみ会を開催し、グリーンコープ商品を使った食事の提供、子どもたちへお菓子の配布などを行っています。
ぱ～ぷるヒゴタイ	熊本市	暴力被害を受けた女性と子どものための心理教育プログラムを実施することにより、被害者である女性と子どもの回復をサポートし、暴力をくい止めていくことを目的としています。暴力防止プログラムを実施し、社会全体に暴力を選択しない行動を広めていきます。
保育を語る親の会・さんぼ	熊本市	保育園児・保育者・保護者（3保：さんぼ）がつながり、すべての子どもたちが平等に保育を受けることができ、心豊かに健やかにのびのびと育ち合う環境作りをし、すべての大人が仕事や育児で忙しい中でも、毎日楽しく過ごすためのネットワーク作りを目指します。
モグ	菊池郡	食・農業・教育（子育て）などについて、身近な事柄で情報交換を行います。農業に関する映画の自主上映を行います。料理、グリーンコープの商品についての情報交換をして、生活の知識を高めます。2～3ヶ月に1回集まり、テーマに応じた活動をします。

地域サークルは、50音順に掲載しています。



わたしとグリーンコープ



西地域本部
鹿本地域委員長
中島 ゆかり

学ぶことの楽しさ

30年程前、職場近くに鹿本センターができました。安全な食べものの購入ができるということで組合員になりましたが、3年前に委員会活動を始めるまでは、ずっとサイレント組合員でした。

活動を始めると、「食の安全」「環境問題」等々、初めて聞くこと学ぶことばかりで、びっくりしましたが、知ることが楽しくて、生産者交流会での出会いがうれしくて、現在の活動に至っています。

これからは、「みんなの居場所づくり」「福祉配達」など、地域に寄り添った活動を地域の皆様と進めていきたいと思っています。お力添えをよろしくお願いします。鹿本地域の運営委員さん大募集中です！興味のある方は鹿本センター(☎0968-46-5196)までお問い合わせください。

こんにちは！ワーカーズです

ワーカーズ・コレクティブアーチ



西地域本部
組合員事務局 総括者
宮崎 万起

組合員事務局は、影となり、ひなたとなつて業務をしております。時には、お姉さんやお母さんの様にお尻を叩いたり、励ましたりしながら、活動する組合員を支えています。

これまでは、組合員活動を卒業した委員が組合員事務局を組合員活動の延長としてやってきた経緯があります。

現在は、ワーカーズとなつて組合員活動を支えることを主な業務として、毎日元気に頑張っています。

うっかりミスなど日常茶飯事です。が、「あなたがそばに居てくれてよかった」と思ってもらえる組合員事務局でありたいと思っています。



「熊本地震」について、東地域本部による災害支援活動報告

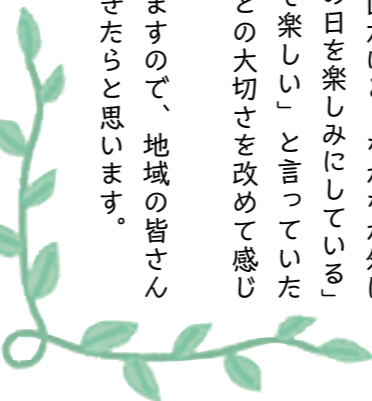
「ご近所カフェ！
楽しく活動しています」

東地域本部 地域理事長 株元 知子

震災後、仮設団地内の「みんなの家」でサロン活動を行っていました。参加されていた皆さんが、仮設住宅から再建されたご自宅や復興住宅に移られる際に「集まる場所がない」「これからみんなと会って話したい」と言われたこともあり、「ましきスマイルいきいき館」に場所を移し、活動を継続してきました。昨年度からは、震災支援から地域支援に舵をきり、地域に住む方々がどなたでも参加できるように「ご近所カフェ」と名前を変え、月に1回程度イベントを行っています。

昨年度は「モッツアレラチーズ作り」「トルペインティング教室」「みぞ作り」「餅つき」「ハンドマツサージ教室」などを行いました。参加者からは「月に1回だけ、なかなか外に出る機会もないし、この日を楽しみにしている」「みんなと会って話せて楽しい」と言っていた。引き続き行うことの大切さを改めて感じました。

今年度も続けていきますので、地域の皆さんと一緒に楽しく活動できたらと思います。



7年前の「熊本地震」。3年前の「令和2年7月豪雨」。どちらの災害も熊本に深い爪痕を残し、未だなお癒えてはいません。グリーンコープの支援活動も、絶えることなく続いています。くまもとの各地域本部でも、被災者でありながら、地域に寄り添った、必要とされている支援活動を、組合員が参加して行っています。各地域本部の地域理事長が、現在の状況を伝えます。

※グリーンコープ生活協同組合連合会の公式ホームページには、災害支援活動の詳しい報告が掲載されています。カンパのご案内なども載っていますので、二次元バーコードからご覧ください。→



「令和2年7月豪雨」について、西地域本部による災害支援活動報告

「今後とも、ご支援いただきませう、お願いいたします」

西地域本部 地域理事長 八木 佳奈

あの日から3年が過ぎました。復興は着実に進んでいます。未だ支援を必要としている方は少なくありません。「元氣カー」での移動販売や、地域の復興イベントでの出店、新キープ&ショップ併設の「第3の子どもの居場所ひだまり」でも、地域の子どもたちに寄り添った活動を行っています。「ヒトハレハウス いっここと」のインスタグラムで、「ワーカーズコレクティブ ヒトハレ」スタッフの皆さんが、毎日の様子をアップされていますので、ぜひご覧になってください。

たくさんの方の組合員の皆さんが心を寄せ、カンパ金を寄せてくださったおかげで、災害支援活動を行い、ショップを再建することができました。本当にありがとうございます。

私たちはこれからも、人吉球磨の復興のためにこの地域に住む人たちを笑顔にするため、自分たちができることを、精一杯やっていきたいと思っています。今後とも、ご支援いただきませう、お願いいたします。



「ヒトハレハウス いっここと」
インスタグラムの二次元バーコード

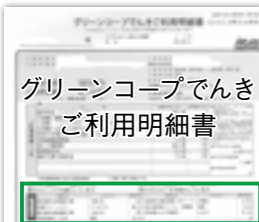
「グリーンコープでんき」は原発フリーの電気です！

「いのちと原発は共存できない」

チョルノービリ（チェルノブイリ）原発事故以来、グリーンコープは一貫して脱原発をめざしてきました。安心・安全な食べものを自分たちの手で作ってきたように、毎日使う電気も安心・安全にこだわり、原発・化石燃料発電の電気を使用していません。お届けする電気は電源を特定しているの、どこの発電所の電気なのか、毎月お届けする「グリーンコープでんきご利用明細書」で確認できます。

原発のない未来へ！「グリーンコープでんき」への切り替えをご検討ください。

「グリーンコープでんき」担当常務 高田 幸



▲発電所名など、お届けした電気の詳細がわかります。

グリーンコープ生協くまもとの状況（6月）

グリーン電力出資金

6月16日現在 124,926,000円
目標 316,533,186円

「グリーンコープでんき」 申込状況

6月16日現在 782件
2023年度目標 1,000件

グリーンコープでんき

お申し込みは…→



申込書請求は、注文書の特別
申込欄に申込番号(3995)と
数量を記入し、ご提出ください。



みんなのひろば

「グリーンたいむ」では、読者の皆さんから届いたおたよりを掲載しています。今後、「みんなのひろば」と題して、これまでのおたよりに加えて、イラストやクイズ、ペットの写真なども掲載したいと考えています。皆さんからの投稿をお待ちしています。

★おたより…グリーンコープに関することなら何でもOK！200字以内でご執筆ください。

★クイズ…グリーンコープ商品や運動に関する簡単なクイズを掲載します。

★イラスト…黒色のペンで描いてください。カラーの作品も白黒での掲載となります。

★ペットの写真…コメントを添えて、封筒に入れてお送りください。

おたよりなどのお届けに関する詳しい情報は、次号以降に掲載予定です。

機関紙「グリーンたいむ」リニューアルに寄せて

4月号から3ヶ月のお休みをいただき、組合員の皆様が毎月楽しみにされている「グリーンたいむ」が、この7月号からリニューアルしました。お読みいただき、いかがでしたでしょうか？

読者参加型の「みんなのひろば」もスタートをします。リニューアルした「グリーンたいむ」を、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

お気軽に
お電話ください♡
待ってまーす！

もしもし♪



電話コーナー



お金の問題で
困っていませんか？
まずはお電話ください。

生活再生相談室

熊本相談室

☎096-243-2100

八代相談室

☎0965-45-5133

月～金・第3土曜日

9時30分～18時

生活まるごと
なんでも相談できます。

ふくし情報でんわ

ごようは ふくし

☎0120-540-294

携帯電話からは

☎096-337-7226

月～金/10時～16時

※祝日は休み

24時間受付・年中無休

グリーンコープ 葬祭サービス

☎0120-222-782

「自然庵」との協働事業です。葬儀だけでなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

昼や夜の張り替え、引っ越しなど、お気軽にお問い合わせください。

生活情報誌

くらしアップ くまもと

ホームページ▲

☎0120-518-141

月～金/9時～17時30分

窓口：グリーンコープレインボー



編集者だよ
た。益々のご支援、よろしく
お願いいたします。(磯川)
ワーカーズとして歩み始め
るまでには、くまもとワーカー
ズ連合会を代表をはじめ多く
の方々に、寄り添い背中を押
していただきました。ありが
とうございます。(上部)
聞文(oumon)として新た
なスタートを切った広報室。
飛び回る回数も中身もリ
ニューアルして、紙面に反映
できるように頑張ります。



広報室は5月
11日にワーカー
ズ・コレクティ
ブ聞文(bunmon)
を設立しまし
ます。

(伊藤)

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任/理事会

編集/広報室

発行所/〒860-0056

熊本市西区新土河原2丁目1-1

☎096-324-8118(代)

FAX 096-324-8123

印刷所/ホープ印刷(株)

■東地域本部 26,062人

■西地域本部 38,779人

合計 64,841人

(6月27日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープ生協くまもと リユース・リサイクル状況(5月分)

牛乳びん 回収率 99.4%	カタログ 回収率 72.4%
リユースびん 回収率 94.4%	リサイクルトレイ 回収率 90.9%
仕分け袋 回収率※ 22.49%	モールドパック 回収率※ 80.6%



付いたびんを
回収♡

商品を入れる
半透明の袋を
回収♡

「リサイクル」
マークが付いた
トレーを回収♡

「リサイクル」
マークが付いた
トレーを回収♡

※グリーンコープ全体の回収率

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<https://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中！
ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらの二次元バーコードよりアクセスできます。➡

